

「第2回 WWF 八重山諸島体験エコツアー」におけるCO2排出量の算定と カーボンオフセットの代行・証書発行について

株式会社日本スマートエナジー

株式会社日本スマートエナジーは、有限会社リポーン及びWWF ジャパンの依頼により2008年10月23日~28日に行われました第2回WWF 八重山諸島体験エコツアー※1において、本ツアー参加者の東京~石垣島往復及び大阪~石垣島への移動における飛行機の利用に伴い発生したCO2排出量の算定を行いました。また、算定したCO2排出量をオフセット（相殺）するために、ブラジルバイオマス発電プロジェクトから獲得した国連認証の排出権（CER）の取消を含めたオフセットの完了に至るプロセスの代行、及びカーボンオフセット証書の発行を行いました。※2



カーボンオフセットとは、私達の生活や経済活動において生じるCO2などの温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう努力し、どうしても避けられない排出量を計算し、自分の排出した分を他の人が他の場所で努力して生み出した排出削減量（排出権）を使って相殺したこと（打ち消したこと）にしよう、という仕組みです。

※1 「第2回 WWF 八重山諸島体験エコツアー」は旅行会社有限会社リポーンがWWF ジャパンの会員向けに企画・実施したものです。石垣島白保のサンゴ礁保護と、西表島の伝統行事・節祭（シチ）を体感する旅として企画されました。

※2 排出権の種類：ブラジルにおけるバイオマス発電 CDM プロジェクト（国連登録プロジェクト番号：143）により得られる CER

オフセット量：約 12t-CO2e

日本政府の取消前口座への移転完了日：2008年11月18日

以上